

学区災害対策本部行動マニュアル 勉強会のポイント

2021（令和3）年5月11日

学区災害対策本部行動マニュアル勉強会のポイント

項目	内容
確認事項	マニュアルは22ページ、添付資料は17枚（通しのページなし）資料の抜けの有無確認
	添付資料はA, B, C, D, E, の5つに分かれています
簡略記述	岡崎市を市、六ツ美南部小学校を小学校、学区災害対策本部を本部と表現
課題	課題については防災委員会の活動で検討していきます
考え方	今後訓練を行い不備な点、要望等を反映して、災害時に使える手順に改訂して行きたいと考えます。毎年度始めに説明会を行い隊員に内容を知って頂く、ここではマニュアルに記載されている重要項目と、なぜ重要かを説明していきます。重要な所にはしるしを付けていただきたいと思います。質疑応答は最後にお受けいたします

頁	項目	解説内容
表紙	自助、共助、公助	防災の基本は自分（自助）の身は自分で守る（65%）ですが本マニュアルは共助（学区災害対策本部の行動）を大きく表示
	安全に避難	助ける側になる、ケガ、閉じ込められない事。市内の救急車14台、市民38万人、災害時は頼りにならない
	火を出さない ブレーカを切る	南部学区は密集、消防車来ない。六ツ美4学区で1万軒（3万人）、消防車は岡崎市で35台、地震で家が倒壊しなくても、火災が起きたら消火出来ない。阪神淡路震災時は通電火災発生し、死者も出て大災害になった
	7日間生き延びる	行政は助けてくれない。東日本大震災の東北5県900万人で、関東より以西の多くの地域から支援ができたが、東南海地震は逆に被災する地域の9県（4500万人）で人口が5倍。道路交通網は人口密度が違うので大渋滞。道路、橋、ライフラインなどの復旧に時間がかかり、救援物資が届くのに7日以上かかる
2	④災害時の行動	災害時の対応・対策は各町の防ぎょ隊が担当して、本部は情報収集と避難所開設運用支援を行う
	⑥学区防災倉庫 備蓄品	学区防災倉庫の備蓄品は避難所の避難者（ 住む家を無くされた方 ）用で 各町配布は不可
	⑧被害想定	避難所収容人数に限りがあるので、各町でも対応を考慮下さい
3	②本部開設	市は震度5強以上で小学校に3時間以内目標に開設
	⑤隊員の招集	正副隊員は自主参集とする
4	表1 本部隊員	正隊員は現職総代4役、社教の防災に関係する団体役員と小学校校長。副隊員は正隊員役職OBの方と学区防災担当委員にお願いする。したがって、本部隊員者は各町防ぎょ隊員から除外願います
5	(2) 開設後の対応	本部隊員の優先作業を提示、マンホールトイレ優先設置
	2-1-2 警防救護班	各町防ぎょ隊で被害現場対応を行い、本部は各町との情報収集と伝達、避難所の対応を避難所班と連携して行う
6	2-1-3 避難所班 役割	本部としては避難所開設・運営支援が中心の役割となる
	(1-2) 受け入れ 準備	①～⑩までは役割を記載、⑤項の屋内レイアウト作りが重要、備品等準備、避難者を出来るだけ待たさずスムーズに準備する訓練をする
7	(1-3) 受け入れ 開始	②病人、妊産婦、乳幼児家族、要支援者は別々の教室に避難する ③小学校が一杯に成ったら市民ホーム、こどもの家へ避難 ④各場所に入室出来たら、避難者で倉庫内の備品を運搬し使用

8	(1-4) 運営委員会	避難所の運営は避難者の方で行う、本部隊員は避難運営委員会の設立まで支援を行う
		③避難所の問題解決、ルールを避難者で協議して決めて進める
9, 10	(1-5) 組織、役割	運営委員会は原則9個の班を作る、10頁表3の役割で施設管理、衛生、食料班重要
11	(2-1) 医療救護所	六ツ美中学校に開設、けが人は各町で搬送する
	(3) 児童係の支援	保育園、幼稚園、小学校、平和学園との災害時の連携協力、今後継続検討
12	風水害	本部と指定避難所が河川氾濫時に水没して機能しないので、机上で考えられることを記載した
	(1) 発生前 (2) 水害後	発生前と発生後に本部として出来ること、しなければいけない事
	「課題に記載」	(1) (2)について行政との協議を進める。「本部、避難所開設するにしても、本部組織の隊員の住宅も被災していると思うので参集が難しい」
13	3平常時の準備	添付資料の帳票類の印刷準備と、訓練で必要と思われる帳票作成、機材、備品と文房具類を調達し倉庫に整理・整頓（棚など設置）して保管する。そのための予算を計上、予算確保をお願いします（優先度、重要度で整理）
	3-1-1本部開設運用	①毎年度末に次年度の名簿作成
14, 15	3-1-3避難所班準備	添付資料Eのリスト品を訓練で活用して不足品のリストアップをする
15	(1-4) 避難運営委員会	避難運営ゲームを一度体験して課題について議論するのも重要
16	(2) 救護係、児童係	課題項目について議論
17	3-2風水害	課題項目について議論、課題の議論の進め方など方法について防災委員会で検討する
18	3-3学区防災訓練	①年初に本部行動マニュアルの勉強会を実施 ④防災備品倉庫の点検、整理整頓、リストとの照合、有効期限確認入れ替え、発電機運転
	3-3-2訓練の平常時の準備	(1)①4年間の訓練計画を立案して各年度その計画に沿って訓練を立案実施。毎年度の訓練の進捗により見直し、次年度の計画を立案する
19	(3) 訓練終了後マニュアルの検証・改廃	訓練後、アンケート結果を含め隊員の意見を議論して、災害時に使えるマニュアルにして行く。必要により細かな行動手順の文書化を追加作成していく事も考える。（誰が、いつ、何をするか明記しておく）
20	3-4防災委員会体制	防災委員会の組織・運営についても、議論の上必要により改訂していく
21, 22	4付表・帳票・リスト	4-1リストの番号に○がない項目は訓練をして必要な物を議論する
	添付資料A	2頁の報告書書式で各町防ぎょ隊より報告する、3頁は事業所、施設用
	添付資料B	2頁は避難所共通ルール、A1サイズで掲示、3頁は避難者の方（世帯）の受付時に記入してもらう、原則避難所は家を失った方が利用可能。5頁は本部への報告用紙、6・7頁はペットに関するルール
	添付資料C	2頁は教室の利用レイアウト図、白色教室が避難者用。病人、妊産婦、乳幼児家族、要支援者は別々の専用教室を割り当て。 3頁は小学校全体のレイアウト図、避難者用、救援物資用、炊き出

		<p>し用の8張りのテントを準備。仮設トイレ（マンホールトイレ）の設置が優先。</p> <p>4頁の体育館内の避難者居住区割り、コロナは色付けの37区画74人、全体で73区画146人、教室に64区画128人</p> <p>資料は無いが市民ホーム52人、こどもの家55区画110人合計436人</p> <p>各町でも避難所確保をお願いします</p>
	添付資料D	<p>絵文字のステッカーでA4かA3サイズのラミネートを掲示する。優先して禁止ステッカーとトイレの使用可否の掲示</p>
	添付資料E	<p>2頁から7頁までは小学校防災倉庫から六ツ美支所の倉庫備品リスト。避難者用で各町分は無いので、各世帯で7日間備蓄が必要。</p> <p>8頁が社教倉庫備品です、訓練で備品のリストアップをお願いします。</p>
	質疑応答	<p>以上で説明を終わります、質疑応答の時間とします、挙手して町名、氏名をお願いします。</p>